

令和2年度 第6回柿崎区地域協議会次第

日時：令和2年9月15日（火）午後6時～

場所：柿崎コミュニティプラザ 305～307 会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 会議録署名委員の指名

4 報告事項

(1) 温浴・宿泊施設の再配置に向けた柿崎マリンホテルハマナスの現況について

・・・・・・・・資料1-1 資料1-2 資料1-3 資料1-4

(2) 地域活動支援事業の変更申請について・・・・・・・・資料2

5 協議事項

(1) 懇談会を通しての意見交換

(2) 令和2年度視察研修について・・・・・・・・資料3

6 その他

(1) 令和2年度新潟県原子力防災訓練の実施について

(2) 第7回柿崎区地域協議会の開催について

日 時：令和2年10月20日（火）午後6時～

会 場：柿崎コミュニティプラザ 305～307 会議室

7 閉 会

1 施設名 柿崎マリンホテルハマナス

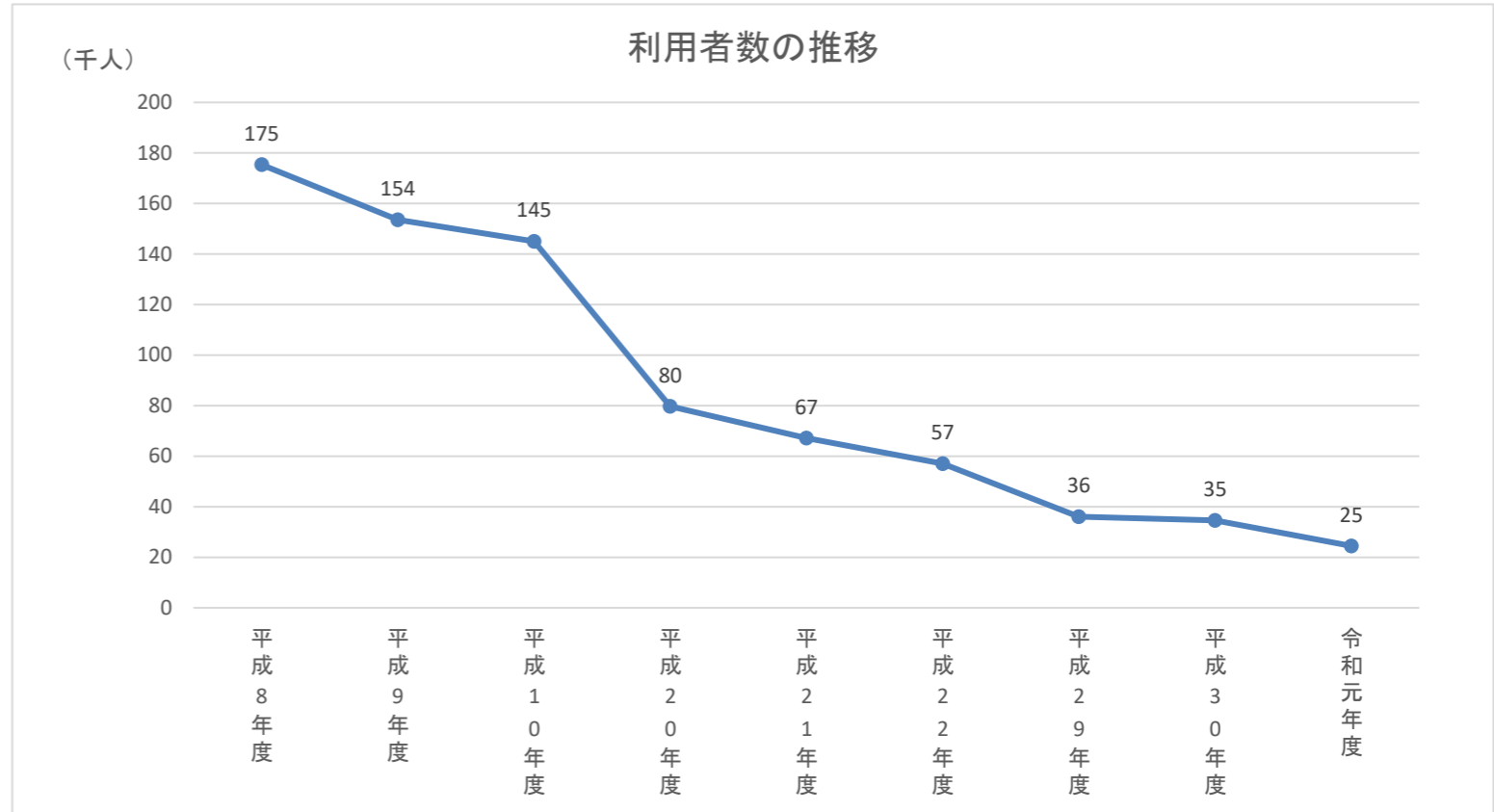
資料1-1

2 施設の設置目的（条例から入力）

市民に休養の場を提供することにより健康の増進を図るとともに、生活文化の向上を図るため、宿泊休養施設を設置する。

3 施設の概要（行革公の施設の管理台帳等）

所在地	上越市柿崎区上下浜262番地
主な施設機能	宿泊、日帰り温浴、レストラン（令和2年3月末現在）
設置	平成6年度3月
構造	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨鉄筋コンクリート造）
耐用年数	50年（到来年：令和26年）
面積	1977.66㎡
現在の管理形態	指定管理
指定管理者	柿崎総合開発株式会社
現指定管理期間	平成31年4月1日～令和4年3月31日
施設の現状（修繕履歴、不具合の状況など）	施設の老朽化に伴い、近年、空調設備や給排水配管、循環ポンプなどの衛生設備の修繕などが急増している。今後は漏水に伴う屋根・外壁等の修繕、エレベーターの更新など、大規模な工事も必要である。



4 利用者数（延べ）

（単位：人）

項目	設立当初			中間期			直近3か年		
	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
宿泊				8,511	8,873	7,759	5,946	5,508	5,198
宴会				7,701	7,358	8,573	6,491	6,114	5,116
レストラン				-	-	-	8,436	7,989	4,009
入浴				2,205	1,797	1,683	14,412	14,413	9,761
貸室				1,736	1,446	1,256	817	571	416
ハマナスふれあいセンター（日帰り温浴）				59,599	47,750	37,747	※H27.3月で施設廃止		
合計	175,350	153,520	144,990	79,752	67,224	57,018	36,102	34,595	24,500

5 市の収支状況（市決算書）

（税込み、単位：千円）

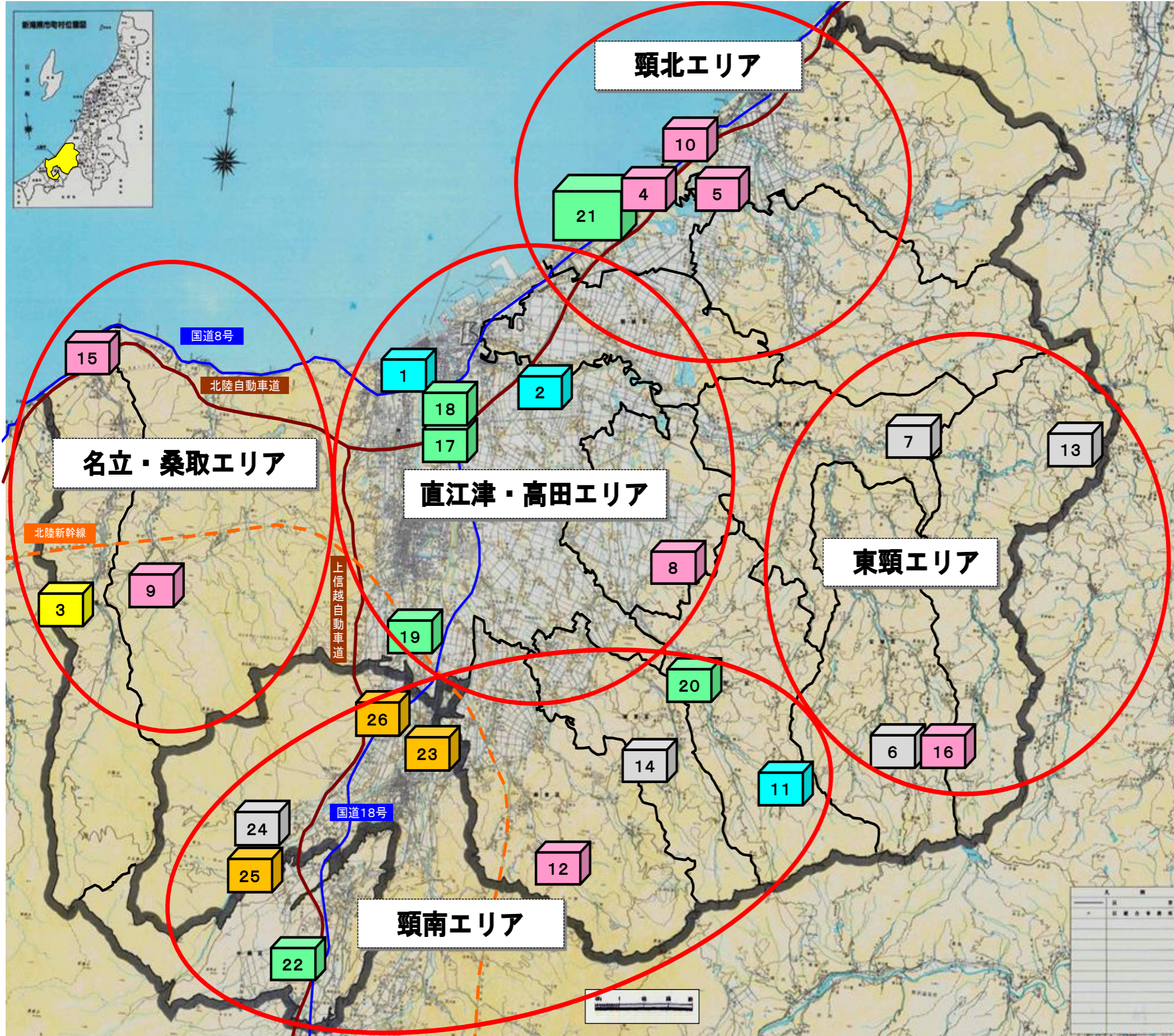
区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
収入（A）	78	170	0	
支出（B）	修繕料	4,341	2,858	3,516
	指定管理料	3,710	3,710	8,107
	その他委託料	184	150	664
	その他	3,672	4,801	9,015
	合計	11,907	11,519	21,302
公費投入額（B—A）	11,829	11,349	21,302	
利用者1人当たりの公費投入額（円）	328	328	869	
※ 入湯税収入額	2,281	2,152	1,653	
※ シニアパスポート補助額	727	827	623	

6 指定管理者の収支状況（市決算書）

（税抜き、単位：千円）

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
収入（A）	利用料金収入	111,896	101,482	90,267
	指定管理料	3,435	3,435	7,437
	その他	1,256	2,533	3,390
	合計	116,587	107,450	101,094
支出（B）	133,854	122,630	111,033	
差引（A—B）	△ 17,267	△ 15,180	△ 9,939	

上越市周辺における主な温浴・宿泊施設の位置図(令和2年3月末現在)



分類	番号	施設名	施設区分	開業年	経営区分
市内公設	1	市民いこいの家	日帰り	平成6年	民間業者指定管理
	2	上越リゾートセンターくるみ家族園	日帰り	平成元年	民間業者指定管理
	3	ろばた館	日帰り	平成7年	直営業務委託
	4	大湯健康スポーツプラザ 鶴の浜人魚館	日帰り	平成9年	第三セクター指定管理
	5	吉川ゆつたりの郷	日帰り	平成9年	第三セクター指定管理
	6	雪だるま温泉雪の湯	日帰り	平成3年	第三セクター指定管理
	7	浦川原霧ヶ岳温泉 ゆあみ	日帰り	平成4年	休止中
	8	三和ネイチャーリング ホテル米本陣	宿泊	平成6年	第三セクター指定管理
	9	くわどり湯つたり村	宿泊	平成11年	第三セクター指定管理
	10	柿崎マリンホテル ハマナス	宿泊	平成7年	第三セクター指定管理
	11	牧湯の里深山荘	宿泊	昭和61年	民間業者指定管理
	12	板倉保養センター(やすらぎ荘)	宿泊	平成7年	第三セクター指定管理
	13	大島あさひ荘	宿泊	昭和57年	休止中
	14	清里農村体験宿泊休憩施設(山荘京ヶ岳新館)	宿泊	平成元年	休止中
	15	うみてらす名立	観光	平成12年	第三セクター指定管理
	16	雪だるま高原(久比岐野)	観光	平成3年	第三セクター指定管理
市内民設	17	七福の湯	日帰り	平成16年	民間
	18	門前の湯	宿泊	平成19年	民間
	19	釜ぶたの湯	日帰り	平成30年	民間
	20	割烹新柳	日帰り	—	民間
	21	鶴の浜温泉街	宿泊	—	民間
	22	松ヶ峰温泉ひばり荘	日帰り	平成27年	民間
市外	23	ほっとランド	日帰り	平成9年	新井頸南広域行政組合運営
	24	矢代ふれあいの里 友楽里館	宿泊	—	休止中
	25	ロッテアライリゾート	宿泊	平成29年	民間
	26	神の宮温泉 かわら亭	宿泊	平成20年	民間

法人名 **柿崎総合開発株式会社**

所管部署 産業観光交流部 施設経営管理室

I 基本事項

1 法人の概要

設立年月日	平成6年7月19日		設立後	25年8月	経過	代表者	早川 寿男		非常勤	プロパー		
設立目的	旧柿崎町において観光事業、交流の拠点となる宿泊施設「マリンホテルハマナス」と「ハマナスふれあいセンター」の管理運営を行うために設立された。					事業概要	柿崎マリンホテルハマナスの管理運営事業					
資本金	50,000 千円					理事・取締役	監事・監査役	計	内訳			
出資者(上位5)	出資額	出資割合							プロパー	市派遣	市兼務	その他
JHD(株)	50,000 千円	100.0%	役員	常勤	1		1	1				
	千円	0.0%		非常勤	1	1	2	2				
	千円	0.0%		計	2	1	3	3	0	0	0	
	千円	0.0%	職員	正規職員	—	—	8	8				
	千円	0.0%		臨時・パート職員	—	—	12	12				
出資状況の補足				その他	—	—	0	0				
増資・減資の状況			計	—	—	20	20	0	0	0		

2 法人の経営状況等（事業開始後2か年及び最新の3か年）

(単位：千円)

貸借対照表	平成6年度	平成7年度	～	平成29年度	平成30年度	令和元年度	損益計算書	平成6年度	平成7年度	～	平成29年度	平成30年度	令和元年度
資産	43,943	62,104	～	84,205	68,043	57,753	売上高	18,029	318,452	～	115,331	104,917	97,704
負債	9,498	23,530		9,307	8,600	8,521	(うち市支出額)	不明	不明		4,163	4,262	7,993
純資産	34,445	38,573		74,897	59,443	49,232	売上原価	5,550	90,260		30,110	29,131	25,370
(うち資本金)	50,000	50,000		50,000	50,000	50,000	販売管理費	29,198	236,125		103,746	93,521	85,678
(うち利益剰余金)	△ 15,555	△ 11,427		24,897	9,443	△ 768	営業利益	△ 16,719	△ 7,933		△ 18,525	△ 17,734	△ 13,343
予備的診断(※1)	A-4	A-3	～	A-2	A-2	A-3	経常利益	△ 15,435	4,281	△ 17,397	△ 15,275	△ 12,581	
特記事項							税引後純利益	△ 15,555	4,129	△ 17,575	△ 15,455	△ 10,211	

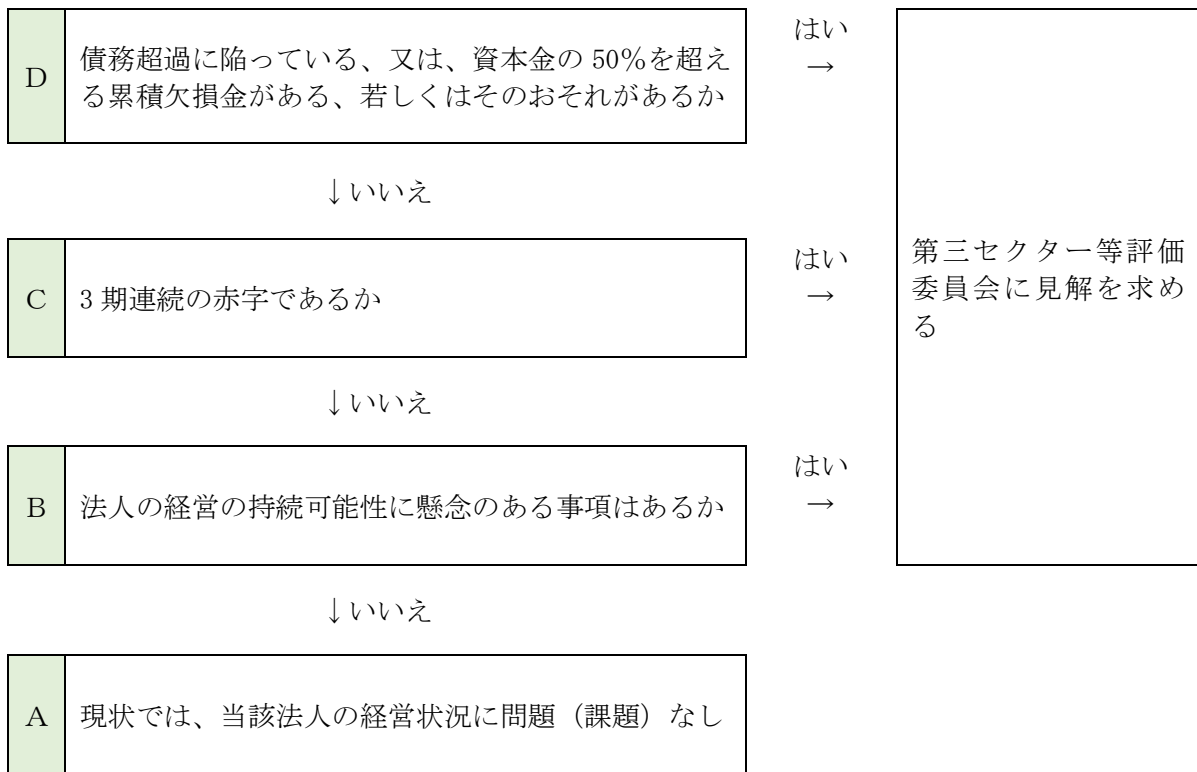
※1 予備的診断はA①：欠損金無・黒字、A②：欠損金無・赤字、A③：欠損金が資本金の50%未満・黒字、A④：欠損金が資本金の50%未満・赤字、B：欠損金が資本金の50%以上

※2 令和元年度には、特別利益として市からの減収補填金2,545千円計上。市からの支出合計は 7,993+2,545=10,538千円 となる。

経営状況の分析・評価

(1) 第三セクター等の経営状況の分析・評価のフローチャート

※「第三セクター等に対する関与方針」から抜粋



フローチャートによる評価基準		備考
A	経営状況に問題（課題）なし	引き続き経営努力を行う
B	法人の経営の持続可能性に懸念がある	経営健全化の可能性について、第三セクター等評価委員会に見解を求める
C	当期純利益が 3 期連続の単年度赤字である	
D	債務超過に陥っている、又は、資本金の 50%を超える累積欠損金がある	

フローチャートによる評価	C	→ BからD評価の法人は(2)へ
--------------	---	------------------

【特記事項】

5期連続で単年度赤字を計上したことから、C評価となりました。

(2) 第三セクター等評価委員会の分析・評価

第三セクター等評価委員会の評価
<input checked="" type="checkbox"/> 課題あり <input type="checkbox"/> 課題なし
第三セクター等評価委員会の分析
【上記評価の理由】 ① このまま赤字基調が続けば、債務超過になる日も近く、黒字化が求められる。 宿泊業の労働分配率の平均は約 40～50%だが、当社は約 63%であり、人員配置の適正化の必要がある。人員の適正化ができなければ、黒字化は厳しいだろう。
【その他指摘事項等】 ② 売上（通勤手当を含む）に対する人件費率のバランスは検討・確認すべきである。 ③ 指定管理施設であるため大規模修繕は市が行い、小規模修繕は指定管理者で行っているが、経費についても優先順位を付けて投資していくべきである。 ④ 日本海が眼前に広がる温泉旅館は、そうあるものではない。温泉×ロケーション×料理で独自性を発揮し、魅力を発信できれば、集客できる可能性を秘めている。

(3) 分析・評価結果を受けての対応方針

第三セクターによる対応方針
①② 部署部門を問わず、横断的に業務を行うなど効率化による人件費の抑制に努める。 ③ 市と協議しながら、破損箇所等の修繕を行い、利用者に喜ばれる施設を目指していく。 ④ 長野県や群馬県など海のない地域に対して、日本海が羨望できるロケーションを活かした料理やプランを提供できるよう宿泊プランを策定するなど、利用客の増加に向けて取り組む。
市担当部署による対応方針
・上記対応について、親会社である J-ホールディングス及び同社と十分に協議を行い、取組を進めていく。 ・施設の建設から 20 年以上経過しており、今後、躯体や配管等の大規模修繕が想定される。修繕の実施の可否については、今後の施設の在り方を踏まえた上で検討していく。

第4号様式 (第14条関係)

上越市地域活動支援事業費補助金事業変更承認申請書

2年 9月 4日

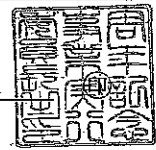
(宛先) 上越市長

(申請者)

所在地 上越市柿崎区法音寺 392-1

名称 柿崎中学校創立 50 周年記念事業実行委員会

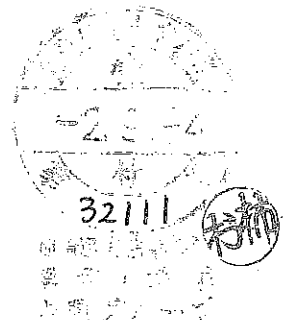
代表者氏名 中村 和彦



次のとおり事業に係る変更の承認を申請します。

事業の名称	柿崎中学校創立 50 周年記念式典・記念講演会事業
変更の内容	記念講演講師変更及び会場変更
変更の理由	新型コロナウイルス拡大感染防止の観点から、当初、派遣していただく予定だった講師の来校が不可能となったため。また、密集を避けるため、会場を柿崎中学校の体育館から柿崎ドームメインアリーナにしたため。

備考 変更の内容又は理由について補足する必要があるときは、説明を補足する書類を添付して提出すること。



事業の収支計画等（変更後）

ア 収入の部

（単位：円）

費 目	金 額	説 明
地域活動支援事業 費補助金	1,000,000	
自己資金	12,500	
合 計	1,012,500	

イ 支出の部

（単位：円）

費 目	金 額	説 明
講師講演料	486,500	① 記念講演講師 ナマラエンターテイメント 4人分の謝礼、交通費込み 415,000円×消費税【見積書のとおり】 ② 記念演奏（歌唱・伴奏）講師 上教大教授 15,000円×2人分
講師花束代	18,000	3,000円×6人分
接待費	12,000	2,000円×6人分
記念式典・講演会 会場使用料	46,000	メインアリーナ 2,370円×16h ステージ 280円×16h 控室 2室×180円×10h
消耗品費	10,000	チラシ印刷用紙、インク、その他事務消耗品
印刷製本費	440,000	記念誌（30ページ・冊子・カラー予定） @100円×消費税×4,000部
合 計	1,012,500	

備考 次に掲げる書類を添付してください。

- (1) 規約、会則又は定款の写し
- (2) 提案を行う事業に係る見積書の写し
- (3) 位置図その他の工事図面（提案を行う事業に工事が含まれる場合に限る。）の写し

（上越市暴力団の排除の推進に関する条例に基づく暴力団の排除のための誓約）

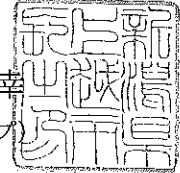
- (1) 暴力団の活動において地域活動支援事業として採択を受けるものではありません。
- (2) 地域活動支援事業としての採択により暴力団に対し利益を供与することはありません。
- (3) (1)又は(2)に反する場合は、この提案を不採択とされ、採択の決定を取り消され、又は交付を受けた補助金を返還することを承諾します。

上記について誓約します。（にレ点を記入してください。）

上柿総務第32273号
令和2年9月7日

柿崎中学校創立50周年記念事業実行委員会
委員長 中村 和彦 様

上越市長 村山 秀 幸
(柿崎区 総務・地域振興グループ)



上越市地域活動支援事業費補助金事業変更承認決定通知書

令和2年9月4日付けで申請のあった地域活動支援事業費補助金事業の変更について次のとおり承認したので通知します。

事業の名称	柿崎中学校創立50周年記念式典・記念講演会事業
決定の内容	<p><input checked="" type="checkbox"/> 次のとおり変更を承認します。 (承認内容) 記念講演会の講師及び会場の変更に伴う講演料、花束代、接待費の増減及び会場使用料の追加</p> <p>(補助金交付額) ・既決定額 1,000千円 ・増減額 ±0円 ・変更決定額 1,000千円</p> <p><input type="checkbox"/> 次のとおり変更の承認申請を却下します。 (理由)</p>

柿崎区地域協議会視察研修先一覧

年度	実施日	研修先	研修内容
平成27年度	10月28日	長岡市山古志地区 ①やまこし復興交流館「おらたる」 ②被災地等見学(木籠集落水没現場、山古志闘牛場、竹沢地区公営住宅など)	交流館や現地見学を通して、災害発生時の山古志地区の避難の様子や仮設住宅での生活状況などを学ぶ。
平成28年度	10月27日	上越市内 ①久保田農場 ②あるるんの杜 ③竹直生産組合	施設見学を通して、市内の農業の現状や今後の展望、課題などについて学ぶ。
平成29年度	11月22日	富山県射水市 ①(株)地域交流センター企画富山事務所 ②近隣施設見学(空き家を活用した着物店やカフェなど)	職員の説明や施設見学を通して、空き家の活用や移住・定住の取組について学ぶ。
平成30年度	11月15日	岐阜県関市 ①関市役所福祉部こども家庭課 ②板取めばえ保育園	小学校を活用して設立された保育園の見学を通して、柿崎区の保育園の在り方を検討する参考とする。
令和元年度	10月31日	上越市内 柿崎区下牧地区中村和彦さんの再生古民家見学	古民家の内覧等を通して、地域の活性化策について学ぶ。
令和2年度	10月～11月頃	(例) 【最終処分場】 ・出雲崎町「エコパークいずもざき」 【デマンド交通】 ・出雲崎町「てまりん」 ・三条市「ひめさゆり」 ・見附市、阿賀野市など 【移住定住】 ・糸魚川市空き家活用ネットワーク「いえかつ糸魚川」など	